

畑に作物があるなしに関係なく、一年中、24時間連続通電してください。よく、稲刈りや野菜の収穫が終わったからと言って電気を切る人、夜だけ入れて昼は電気切る人がいますが大間違い。

さて、いよいよ設置ですが、コードは必ず支柱の外側を通して下さい。でないと、イノシシが支柱を鼻で押したときに感電しないでしょ。それと、大切なのは地面からの高さ、今回はイノシシが対象なので、地面から20センチと40センチの2段張りです。

イノシシは鼻先の毛のない部分以外は感電しません。餌をさがして地面近くのニオイ嗅ぎながら鼻下げ姿勢で歩いている時は20センチ、普通に前進する時は40センチの高さのコードに触れます。下段の線が30センチだとおでこに触れるだけなので感電しないで入っちゃいますよ。

あと、注意点としては必ず柵の外回りを人が歩けること、外側の潜み場となる茂みや遮蔽物をできるだけなくすこと、それから、イノシシが電柵の外から鼻を突き入れても餌にありつけないよう、た

とえ作付け面積を犠牲にしても、柵際1メートルは野菜なんか植えてはダメですよ。」

### 問題

①電気柵の電圧は最低何ボルト以上か？

( ) ボルト

②次のうち正しいものはどれか

ア 一年中、毎日必ず夕方から朝まで通電する。

イ 収穫が終わるまでは通電する。

ウ 年間を通して24時間通電する。

③コードは支柱の( ) 側を通す。

④2段でコードを張るときは、地面からの高さは、

1 段目( ) センチ、2 段目( ) センチ。

⑤間違いはどれか選んでください

ア 柵の外側は潜み場さえなくせばよい。

イ 柵際1メートルは野菜を植えない。

ウ 柵の外側は必ず歩けること周囲の潜み場や遮蔽物はできるだけなくす。

⑥理にかなった柵以外は逆効果の動物を引き寄せる

( ) 柵。

### 全問正解でなくいい

やってみてくれたかしら？あのね、全問正解でなくいいですよ。

最初に話した美郷町のおばちゃんたちの、何でも気軽に聞いたり教えたり集落、思い出して。

実際、この模擬試験、みんなで相談しながら答え考えた方が正解率高くなるでしょ。3人より5人、5人より10人の方がもっと確実。

集落のみんなが参加すれば、ゼーったい獣害に強い集落に成れる。

何も強制的に研修会参加を義務づける必要なんてない。モデル圃場の周りで集落の方たちと山下さんや徳満さん、それにレギュラーの母ちゃんたちの会話が弾む。

そして「採らないカキやビワは切らんと餌付けになるそう」

「そうそう、イノシシは牧草大好きって知ってたか？」なんて会話が家庭や集落で飛び交う今よりもっと元気な集落になりそうだし、なっってほしい。

### なんでも聞いたり教えたり集落

Aさん Bさん Cさん Dさん

次回は1月の大崎町での勉強会の話だよー。



### 講師紹介 井上 雅央氏

1949年、奈良県出身。愛媛大学大学院農学研究科修士課程修了、京都大学博士(農学)。元 農研機構 近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム長。退職後、同センター専門員。宮崎県、熊本県、広島県、静岡県などでアドバイザーとして継続的に活動。著書に、『これならできる獣害対策』『山の畑をサルから守る』『山と田畑をシカから守る』『60歳からの防除作業便利帳』『ハダニ』『女性がすれぱずんずん進む獣害対策』(いずれも農文協)など多数。

